

通 教 月 報

診 療 情 報 管 理 研 究

平成23年6月号

編 集

発 行 人

武田 隆久

〒102-8414 東京都千代田区一番町13-3

社団法人 日本病院会 通信教育課

TEL 03-5215-6647 (受講生専用)

FAX 03-5215-6648 (受講生専用)

URL <http://www.jha-e.com/>

受付時間

9:00~17:00

(ただし、土・日・祝祭日、年末年始は除く)

発行日

毎月1日

定 価

1部 150円 1カ年1,600円(送料共)

郵便振替

00190-5-396045

名 義

社団法人 日本病院会 通信教育部

東日本大震災に思う

中島 豊爾

地方独立行政法人 岡山県精神科医療センター 理事長・名誉院長
岡山会場 基礎課程(精神) 講師

まずは東日本大震災、巨大津波で亡くなられた方々に心から哀悼の意を表します。生き残られた遺族の皆様、住むところを失われ避難しておられる人々にもお見舞い申し上げます。また、福島県における原発事故の被災者の方々にはお見舞いの言葉もありません。

巨大地震、巨大津波の被害は日本では一千年に一度ということですが、福島原発事故については、人類史上チェルノブイリに次ぐ二度目の災害であります。しかし、経済先進国の原子力発電所がかくも簡単に破壊され、放射能による被害が周辺住民に及んだのは、人類史上初と言っても過言ではありません。この福島県における心のケアについては、震災や津波の被災者のケアのようにはいかないはずです。国民各層各団体が知恵を絞って対処する必要があると思います。

今回の災害を見て、診療情報と国民総背番号の合体が必要だと思ったのは私だけではないでしょう。どこへ避難しようとも、自分の番号さえあれば(名前と生年月日さえあればどこでも検索できる)すぐに適切な医療が受けられるようになればよいと思います。尚更、診療情報管理士であればその思いは強いに違いありません。しかし、政治の動きを見ると、社会保障制度と国民総背番号制度の議論は、必ずしも進展しているようには思えません。

診療情報管理士もいなかったのんびりとした医療の時代から、近未来は誰でもどこでも自分の病院といえる、診療情報管理士の活躍する時代になるでしょう。医療の果たす役割は大きく変化し、患者一人ひとりのためになる医療が現実のものに違いありません。しかしながら、医療の迅速性と便利さと、個人の幸福とは別のものだということを忘れてください。効率性を追求するあまり、そのことが国民の幸福を増進すると誤解してはなりません。

私たち診療情報管理士を目指す者は、医療の効率と利便性を追求すると同時に、一人ひとりの幸福がどこにあるかを自問し続けることを忘れてはならないのだと思います。